



◆ 会社の概況

商号 丸善CHIホールディングス株式会社 (Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)
本社 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2
代表番号 03-6735-0785
URL https://www.maruzen-chi.co.jp
設立 2010年2月1日
資本金 30億円
事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

◆ 役員

代表取締役会長 中川 清真 取締役 常勤監査等委員(社外) 吉田 真一
代表取締役社長 五味 英隆 取締役 監査等委員(社外) 大胡 誠
取締役 矢野 正也 取締役 監査等委員(社外) 舟橋 宏和
取締役 谷一 文子 取締役 監査等委員(社外) 杉田 禎浩

◆ グループ会社

- 丸善雄松堂株式会社 〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
株式会社図書館流通センター 〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
株式会社丸善ジュンク堂書店 〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町11-24
丸善出版株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階
株式会社丸善リサーチサービス 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2



この報告書は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。

株主総会資料の電子提供制度のご案内

会社法改正により、2022年9月1日に株主総会資料の電子提供制度が施行され、これまで郵送していた株主総会資料が原則ウェブ化されました。この制度においては、インターネットのご利用が困難であるなどの株主様のご事情に配慮して、「書面交付請求」制度が設けられています。リーフレットを同封しておりますので、詳細につきましてはそちらをご参照ください。



※当社の2023年4月開催の定時株主総会については、制度開始直後の混乱を避けるため、従前どおりの対応といたしました。

〈株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先〉

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-533-600
受付時間 ▶ 9:00~17:00(土・日・祝日および12/31~1/3を除く)

2023年 今後のIRカレンダー

Table with 2 columns: Date and Event. Rows include: 6月中旬 第14期 第1四半期決算発表; 7月31日 中間日(株主権利確定日); 9月中旬 第14期 第2四半期決算発表; 9月下旬 10月上旬 株主様向け「ビジネスレポート」に株主優待商品券を同封して発送

1単元(100株)以上ご所有の株主様に、全国の丸善・ジュンク堂書店の店舗*でご利用いただける商品券をお送りいたします。
※ご利用店舗一覧は当社ホームページにて公開しております。

決算情報や株主優待の詳細は当社ホームページをご覧ください。
https://www.maruzen-chi.co.jp 丸善CHI



BUSINESS REPORT

株主・投資家の皆さまへ

第13期 2022.2.1 - 2023.1.31

知

丸善CHIホールディングス株式会社

証券コード:3159

連結業績サマリー



文教市場販売事業 29.5%

売上高 47,976百万円(前期比 - ※1)
営業利益 3,313百万円(前期比 89.4%)

教育・研究施設、図書館などの設計・施工においてコロナ禍の長期化による影響で大型案件などの完工が減少したこと、大学市場及び公共図書館向け書籍等販売が減少したこと、また「収益認識会計基準」等を適用した影響から、売上高は479億76百万円(前期565億19百万円)、営業利益は33億13百万円(前期比10.6%減)と減収減益となりました。

その他事業 6.6%

売上高 10,703百万円(前期比 - ※1)
営業利益 204百万円(前期比 63.6%)

総合保育サービス事業は順調に推移し、店舗内装業は前期に比べ回復傾向にあります。しかしパソコンの修理・アップグレード設定等事業において半導体不足の中、一部の部品に供給遅延が生じていること、行動制限緩和後も客足が戻っていないこと、また「収益認識会計基準」等を適用した影響等から、売上高は107億3百万円(前期120億15百万円)、営業利益は2億4百万円(前期比36.4%減)と減収減益となりました。

売上高構成比



出版事業 2.5%

売上高 4,121百万円(前期比 - ※1)
営業利益 265百万円(前期比 107.1%)

専門分野として『理科年表2023』『古生物学の百科事典』『カールソン神経科学テキスト-脳と行動-原書13版』『オックスフォード 出版の事典』『Earth for All 万人のための地球』、児童書として『いつつごうさぎとゆきのもり』『ほねほねザウルス パーフェクト図鑑』『ちびちびうさまる くまさんといっしょ』『にじいろフェアリー-しずくちゃん7 7つのストーンのひみつ』『ようかいとりものちょう16』など、合計新刊232点(前年244点)を刊行いたしました。専門書分野の新刊刊行の遅れの影響で売上高は41億21百万円(前期42億51百万円)と減収となりました。一方利益面は、児童書分野が順調であったことに加え、原価及び販管費の削減により、営業利益は2億65百万円(前期比7.1%増)と増益になりました。

店舗・ネット販売事業 40.7%

売上高 66,310百万円(前期比 - ※1)
営業利益 19百万円(前期比 6.3%)

知育系雑貨の拡大や小規模文具売場の書籍単店への導入、オフィシャルショップやラウンジなど新形態の店舗開店に取り組みましたが、来店客数がコロナ前の水準には戻っていない状況下で感染拡大が繰り返されたこと、また「収益認識会計基準」等を適用した影響等により、売上高は663億10百万円(前期698億24百万円)、営業利益は19百万円(前期比93.7%減)と減収減益となりました。

図書館サポート事業 20.7%

売上高 33,688百万円(前期比 - ※1)
営業利益 2,427百万円(前期比 96.4%)

図書館受託館数は期初1,697館から89館増加し、2023年1月末時点では1,786館(公共図書館580館、大学図書館235館、学校図書館他971館)となり堅調に推移しました。その結果、売上高は336億88百万円(前期317億44百万円)と増収となりましたが、人件費及び水道光熱費等のコストが増加したことにより営業利益は24億27百万円(前期比3.6%減)と減益となりました。

ご挨拶

平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました五味英隆でございます。コロナ禍を経た生活者の行動変容や、情報技術の急速な革新など、現在の社会環境の大きな変容を新たなビジネスチャンスと捉え、経営理念「知は社会の礎である」のもとに経営に取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

当社グループの2023年1月期連結業績は、左記の連結業績サマリーのとおり大変遺憾ながら減収減益となりました。なお、売上高につきましては、収益認識に関する会計基準の適用に伴う減収78億23百万円が含まれております。大変厳しい業績となった要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大による顧客の設備投資計画の遅延や店舗への来客数の伸び悩み、円安・資源高に伴う水道光熱費の高騰などがあげられます。

当社グループを取り巻く市場環境はコロナ禍を経て、在宅勤務などの働き方の多様化、購買行動や余暇の過ごし方などにおける生活者の価値観の変容を受け、激しく変化しております。同時にSNSなどでのコミュニケーションのさらなる浸透や、デジタルコンテンツの急速な拡大など、知や情報の流通にも大きな変革が進みつつあります。

このような環境を踏まえ、当社グループでは情報技術を活用した新規事業として、電子書籍等のデジタルコンテンツを活用した専門家向けの調査・分析業務の効率化支援サービス「丸善リサーチ」を2023年中を目途に立ち上げてまいります。

また、文教市場販売事業及び図書館サポート事業では、リカレント教育(学びなおし)や教育のICT化に関わる仕組みやコンテンツの提供、図書館を通じた地域コミュニティの活性化に引き続き注力してまいります。店舗・ネット販売事業では、書籍取次会社との連携強化による出版流通構造改革への取り組みをさらに推進するとともに、デジタル化の進展する社会においても書店が訪れる価値ある場であるために、より多様な情報、文化やエンタテインメントに関わるコンテンツを取り扱う、魅力ある業態開発を進めてまいります。

これらの取り組みにより、2024年1月期の当社グループ連結業績見通しは、売上高1,670億円(前期比2.6%増)、営業利益35億円(同11.8%増)、経常利益34億円(同11.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は20億円(同12.8%増)を見込んでおります。

これからも当社グループは知の生成と流通の革新を通じて、我が国の発展に微力ながら貢献していく所存です。株主の皆様には、引き続きご高配を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 五味 英隆

※1 当期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、売上高に大きな影響が生じるため、売上高の前期比は記載しておりません。各セグメント別の売上高の影響額は、文教市場販売事業は53億37百万円、店舗・ネット販売事業は22億43百万円、出版事業は44百万円、その他事業は1億98百万円それぞれ減少しております。

TOPICS

トピックス

丸善雄松堂(株)



町の発展を成長する木に見立て、空間コンセプトを「世界樹」とした

本を介して知への扉を開く “本屋”でも“図書館”でもない知の拠点「ちえなみき」

丸善雄松堂と編集工学研究所が指定管理者として運営する敦賀市知育・啓発施設「ちえなみき」が2022年9月に開業しました。2024年春の北陸新幹線延伸に向けた敦賀駅西地区開発の中核施設となる全国的にも珍しい公設書店機能を有する公益施設です。

丸善雄松堂は複雑に入り組んだ書架や意匠に富む空間デザインを担当し、編集工学研究所は本の情報を編集的に構成し、3万冊を超す書籍の分類を担当しました。こうした特徴的な空間デザインと編集的な書籍分類が地元の方やメディアを問わず話題を呼んでいます。

また、学産官民連携による共同企画のイベントも数多く実施され、“本屋”でも“図書館”でも体験できない良質な知との出会いにより、来場者は開業4か月で12万人を超えました。他県の行政関係者等の視察も相次いでおり、今後も様々なまなびのつながりを育みながら北陸エリアの知の拠点として地域に密着した運営を進めていきます。

※ ちえなみきの詳細な情報についてはホームページ (chienamiki.jp) をご覧ください。
※ ちえなみきの書籍空間は丸善丸の内本店にあった「松丸本舗」の流れを継いでいます。

株図書館流通センター

移動図書館車「LiBOON」 ヨシタケシンスケ氏コラボラッピング第1号を納車

図書館流通センターは「老若男女すべての人が図書館を利用できる社会をつくりたい」という願いのもと、軽自動車による移動図書館車「LiBOON (リブーン)」の提供を開始しました。

LiBOONは、大型車両では走行の難しかった山間部や島嶼部にも伺うことができ、これまで不便と思われた地域へも本をお届けすることができます。また、普通自動車第一種運転免許 (AT限定) で運転ができ、維持費も抑えられて、さらなる図書館サービスの拡充に貢献できます。

このたび、LiBOON開発の趣旨にご賛同いただいた絵本作家のヨシタケシンスケ氏に、LiBOON専用のラッピングデザインを描き下ろしていただき、2023年2月15日、高知県四万十町に第1号を納車いたしました。納車当日には四万十町教育長をはじめ関係各位にお集りいただき、LiBOONの可能性に多大な期待が寄せられました。

LiBOONは現在多数のお問い合わせをいただいております。今後も全国の図書館へ納車を予定しております。



ヨシタケシンスケ氏デザインのLiBOON

芥川賞
受賞

丸善ジュンク堂書店の従業員 佐藤厚志『荒地の家族』が第168回芥川賞を受賞

2023年1月19日、東京・築地にて第168回 (2022年下半年) 芥川龍之介賞の選考会が行われ、丸善 仙台アエル店で雑誌売り場を担当する現役書店員、佐藤厚志氏の『荒地の家族』が受賞いたしました (同時受賞: 井戸川射子氏『この世の喜びよ』)。

『荒地の家族』は宮城県沿岸部に住む40歳の植木職人の男性が主人公で、東日本大震災から10年余り、元通りにならない日常の中を生き抜いて行こうとする姿を描いた作品です。

佐藤厚志氏は、今後も書店員としての勤務を続けながら、仙台で執筆活動が続けていく予定です。



東京・丸の内にラウンジ「丸善の三階」がオープン

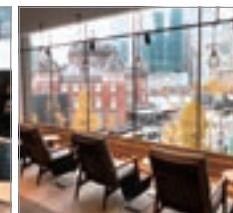
2022年12月2日、東京・丸の内の丸善 丸の内本店の3階に「ひとりを愉しむ空間」をコンセプトとするラウンジ「Personal Lounge 丸善の三階」をオープンいたしました。

明治期、文人に限らず「知」を求める多くの人々に愛され、「丸善の二階」と呼び慣らされた丸善 日本橋店の二階。それから100年余りの時を経て、新たにオープンしたラウンジにおいても、多様な人々に「知」の空間を提供できるように、また、気軽に名前を呼んでいただき、親しみを感じていただけるように、「丸善の三階」と名付けました。

ラウンジ内には快適な読書やリラックスして発想するためのソファチェアや集中して仕事に打ち込むための余裕ある座席スペースなど、ひとりの時間をより豊かにするためにデザインされた環境をご用意しています。オープン以来、平日は丸の内内で働くビジネスパーソン、週末は女性のグループやカップルのお客様が読書をしたり、窓から見える東京駅の景色を楽しまれるなど、幅広い層のお客様にご利用いただいております。



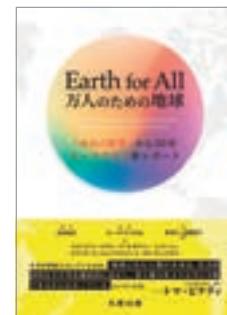
くつろぎの座席スペース



「丸善の三階」から臨む東京駅

株丸善ジュンク堂書店

ローマクラブ「成長の限界」から50年『Earth for All 万人のための地球』刊行



有識者らでつくる「ローマクラブ」によって1972年に出版され、世界的な大ベストセラーを記録した「成長の限界」から50年後にあたる2022年、ローマクラブの新たなレポート“Earth for All: A Survival Guide for Humanity”が発表されました。丸善出版ではいち早く日本語翻訳版の準備にとりかかり、原著刊行から間もない3か月後に『Earth for All 万人のための地球』(監訳: 武内和彦IGES*理事長 監修: ローマクラブ日本) を刊行いたしました。

本書では貧困、不平等、女性のエンパワメント、食料、エネルギーの5つの分野で今すぐに取り組むべき課題と解決策を提示し、地球規模の様々な脅威に直面する私たちに、持続可能な未来への道筋を模索するための指針を与えます。SDGsのその先の未来を考える、21世紀における人類の文明の「サバイバルガイド」として示唆に富んだ内容になっています。

※ IGES: 公益財団法人地球環境戦略研究機関

丸善出版(株)

連結財務データ

◆ 財政状態 (単位: 百万円)

	当期末 (2023年1月31日現在)	前期末 (2022年1月31日現在)
総資産	128,770	128,357
● 流動資産	92,511	91,226
● 固定資産	36,255	37,113
(有形固定資産)	21,485	22,566
(無形固定資産)	1,422	1,441
(投資その他の資産)	13,347	13,104
● 繰延資産	3	17
負債	83,068	84,827
● 流動負債	58,050	59,251
● 固定負債	25,017	25,575
純資産	45,702	43,530
● 株主資本	44,560	42,941
● その他の包括利益累計額	337	△ 254
● 非支配株主持分	804	842

◆ 損益の状況 (単位: 百万円)

	当期 (2022年2月1日から 2023年1月31日まで)	前期 (2021年2月1日から 2022年1月31日まで)
● 売上高	162,799	174,355
● 営業利益	3,129	4,084
● 経常利益	3,061	3,853
● 親会社株主に帰属する当期純利益	1,773	2,171

◆ キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)

	当期 (2022年2月1日から 2023年1月31日まで)	前期 (2021年2月1日から 2022年1月31日まで)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,974	7,429
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 708	△ 1,465
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 742	△ 5,444
● 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4	△ 7
● 現金及び現金同等物の増減額	518	511
● 現金及び現金同等物の期首残高	23,179	22,667
● 現金及び現金同等物の期末残高	23,697	23,179

グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



丸善CHIホールディングス(株)



株式情報 (2023年1月31日現在)

◆ 株式の状況

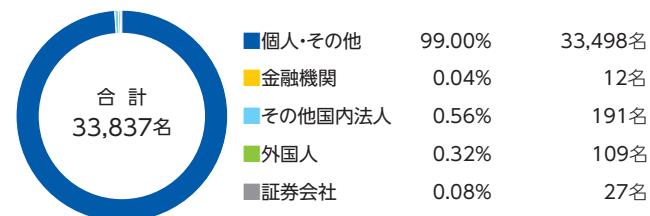
発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	92,554,085 株
株主数	33,837 名

◆ 大株主一覧

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大日本印刷株式会社	50,828,336	54.92
株式会社フォルトウナ	4,200,010	4.53
株式会社講談社	4,028,000	4.35
株式会社トーハン	3,694,406	3.99
有限会社浄久堂	2,748,000	2.96
株式会社小学館	2,203,500	2.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,692,500	1.82
石井 昭	1,306,426	1.41
丸善CHIホールディングス従業員持株会	1,295,677	1.40
工藤 恭孝	1,089,600	1.17

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

◆ 所有者別株主分布状況



◆ 所有者別株式分布状況



※個人・その他には自己株式7,908株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
基準日	毎年1月31日
株主総会	毎年4月
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
〈公告掲載URL〉	https://www.maruzen-chi.co.jp
上場	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	3159

株式事務の取扱場所

株主名簿管理人 及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4
〔郵便物送付先〕 〔電話照会先〕	三井住友信託銀行株式会社証券代行部 電話フリーダイヤル0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取、 配当金受取方法の変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金のお受け取りについて

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様は、より安全かつ迅速に配当金をお受け取りいただける、口座振込のご利用をおすすめいたします。お手続きについては、上記同様に証券会社もしくは三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。